

授業科目名： データ分析の方法と応用		担当教員名： 広瀬健太郎	
選択/必修： 選択	単位数： 2	セメスター： 1 前	開講言語： 日本語

ディプロマポリシーとの関連

国際社会の知識	政策分析能力	英語コミュニケーション能力
	●	

○授業の到達目標及びテーマ

実証分析の基本的な方法を学ぶ。

○授業の概要

講義と実習を通じて実証分析の基本的な方法を理解する。

[重要]

- 受講を希望する学生は初回授業の遅くとも 2 日前までに担当教員 (khirose@unii.ac.jp) へメールしてください。
- もしそれまでにメールがない場合は受講予定なしとみなします。初回授業には出席しなかったが、履修変更期間中に出席したくなった場合も同じく事前にメールしてください。
- 授業は R を使ったデータ分析の実習が中心となるのでノート型パソコンを必ず持参してください。

○授業の方法

講義の後、データ分析の実習を行う。

○授業計画

具体的な授業計画については受講生の興味関心とデータ分析の経験の有無などを考慮した後決定するが、一つの例としては次のようなスケジュールを考えることができる。

1. イントロダクション
2. [講義] 理論と仮説
3. [実習] 自分の仮説を設定する (1)
4. [講義] 実証分析の基礎
5. [実習] 仮説に沿ってデータを収集する (1)
6. [講義] 回帰分析
7. [講義] R の操作
8. [講義] R の操作
9. [実習] 仮説を検証する (1)
10. [実習] 分析結果のプレゼンテーション (1)
11. [実習] 自分の仮説を設定する (2)
12. [実習] 仮説に沿ってデータを収集する (2)
13. [実習] 仮説を検証する (2)
14. [実習] 分析結果のプレゼンテーション (2)
15. まとめ

○テキスト

授業中に使用するスライドをアップロードするので、それを参考にしてください。

○参考書・参考資料等

特になし

○学生に対する評価

実習への積極的な参加：50%

課題提出：50%

○オンライン授業に切り替えた場合の授業形態

授業形態：オンライン授業（リアルタイム配信型）

資料・連絡事項掲載場所：eMMA